

TTC 山行実施記録表(提案)

2011年9月14日 報告者:佐藤末治 (1/2)

山行名	南八ヶ岳 赤岳・阿弥陀岳 [2899m・2805m 長野県/山梨県]					
実施日	2011年9月10日(土)~11日(日) 1泊2日 往復レンタカー(ハイース)使用					
天候/参加人員	天候:9/10 晴れ、9/11 晴れ レベル:★★☆ 参加8名					
パーティスタッフ	CL/計画:、 SL:、 会計:、 救護:、 写真: ドライバー: 氏名削除					
参加メンバー	氏名削除 男3名、女5名					
費用 ¥22,100-	内訳: ハイースレンタル料(@25,000×2) ¥50,000、 燃料代(@125×180km×2/5) ¥9,000 高速料金(@1,700×2) ¥3,400、 ドライバー謝礼(@18,000×2) ¥36,000 交通費合計 ¥98,400-					
カンパ金 ¥1,600-	宿泊費(赤岳展望荘@9,000×8名) ¥72,000、 入浴代(ヒルサイトホテル@600×8) ¥4,800 費用合計 ¥175,200- 集金(¥22,100×8名) ¥176,800- 残金 ¥1,600 を TTC カンパ金とする。					
	歩行時間		休憩時間		行動時間	
	9/10	9/11	9/10	9/11	9/10	9/11
ガイドブック	5:15	6:15				
計画	6:05	7:20	0:30	1:15	6:35	8:35
実行	4:46	6:08	0:59	1:57	5:45	8:05
実行コースタイム記録						
◆ 9/10	50	2:10	昼食	25		
厚木==相模湖 IC==談合坂 SA==小淵沢 IC==美濃戸口	赤岳山荘		白河原			
6:10 7:15 7:22-38 8:41 9:00-10 10:00-15 12:25-50						
1:16 5						
行者小屋 地蔵仏 赤岳展望荘						
13:15-30 14:46-50 14:55						
◆ 9/11	30	1:05	25	1:20	25	昼食 1:38
赤岳展望荘 赤岳 中岳のコル 阿弥陀岳 行者小屋 赤岳鉱泉 赤岳山荘						
6:40 7:10-30 8:35-40 9:05-20 10:40-55 11:20-12:10 13:48-14:00						
45 入浴						
美濃戸口==ヒルサイトホテル==富士見別荘==小淵沢 IC==相模湖 IC==厚木						
14:45-55 15:05-35 15:40-16:20 16:35 19:21 20:30						
概要・特記事項・反省事項等						
◆ 9/10	台風12号による豪雨は各地に大きな被害をもたらした。我々の目指す八ヶ岳もかなりの降雨量で、事前の確認では南沢登山道は冠水し、一部、橋が流されたため渡渉が必要とのことだった。しかし、途中休憩した赤岳山荘のご主人に聞くと、直前で橋の架け替えが終わったとのこと。一安心である。南沢に入ると確かに架け替えたばかりの真新しい丸木橋が数箇所見られた。					
	9月に入ったとはいえ、今日は真夏の陽気。蒸し暑い樹林帯の続く南沢登山道は果てしなく長く感じられる。スタートが早かったため昼食は行者小屋のつもりだったが、さっぱりペースが上がらず、やむなく行者小屋手前の白河原で昼食となった。					
	行者小屋で再度小休憩をとり、最後の登りに備える。見上げるとこれから登る地蔵尾根が垂直の壁のように迫ってくる。暑さで疲れた体で登れるのか少し不安にかられる。					
	しかし、さすがにTTCのメンバーは健脚である。一步一步着実に歩を進め、鉄の階段と鎖の続く難コースを1:16の好タイムで登り切った。この地蔵仏までくれば本日の山行は終わったようなもの。山荘まではあと5分である。					
	赤岳展望荘で受付を済ませると暗いトンネルを通過して別館に案内される。部屋は10畳ほどで窓側すべて使用OKとのこと。窓側だけでもシャワーが12名分敷かれており、8名のパーティには余裕である。やはり数ヶ月前から予約して					

おくと、何かしら特典が有るものと思われる。

赤岳展望荘の朝食時間はカップホルダーの色で決められる。我々には黄色のカップホルダーと白いプラスチックカップが渡された。黄色は5:45の朝食を意味する。この白いカップに自分の名前を書き、常に持ち歩く。お茶、コーヒーはこのカップで自由に飲むことができる。

今回は男性陣に酒豪が居なかった分、女性陣の元気が良い。夕食までの時間、食堂や談話室でビールを飲みながらよもやま話に花をさかせる。夕食のバイキングは思ったより山菜が少なく、誰でも美味しく頂けるメニューだった。

◆9/11

朝食が5:45となったため、スタート時間は予定より遅くなった。その分きれいな日の出と、朝日で真っ赤にもえる赤岳、阿弥陀岳をゆっくり堪能することが出来た。

朝一番の赤岳の急登は非常に辛い。ガレ場をあえぎながら登ったが、それでも30分の好タイムであった。頂上はまさに360度の大展望。北アルプス、御嶽、中央アルプス、南アルプス、富士山、秩父の山塊が眺望できる。岩に腰をおろし、しばらく無言でこの絶景に見入る。

赤岳から阿弥陀岳までは岩稜歩きのため、ストックをしまってお手を手をフリーにして慎重に下る。中岳を舐めていたら、意外ときつい山でびっくりである。中岳のコルにザックをテポして阿弥陀岳の登りにかかる。これも赤岳に劣らず険しい登りであるが、時間にするとわずか25分である。無事山頂につきお互いの健闘をたたえ合う。山頂は赤岳よりも広く、大きな山である。

慎重に下って中岳のコルに戻ると何やら女性陣が賑やかである。なんとKkさんとHmさんは小学校、中学校の同級生であることが判明した。年齢と誕生日の話から同い年であることが分かり、もしかして〇〇さん(旧姓)となった。Kkさん曰く、前からHmさんの口元が似ているなあと思っていたとのこと。40年ぶりでは分からないのも無理からぬ話である。TTCメンバーといっても二人が一緒の山行は今回が初めてである。

中岳のコルから行者小屋までの下りはトラバース道が崩落しており、数箇所、かなり危険な状態であった。これも豪雨の影響であろうと思われる。何とか慎重に通過して事なきを得たが、いつ滑落事故がおきてもおかしくない難所であった。

赤岳鉱泉でお昼休憩をとる。全員が持参のパン食を諦め、ラーメン(800円)を注文する。外の暑さを避けて、登山靴を脱ぎ食堂に上がる。山小屋全体がきれいで、食堂のテーブルも分厚い板のしっかりした造りである。山歩きで疲れた身体には、塩味の効いたラーメンの汁が美味しい。麺もしっとりした硬麺で美味しかった。欲を言えばもう少し量がほしい。

帰りは北沢コースである。北沢は半分が林道歩きのため、南沢よりはかなり楽である。沢沿いの難所にはすべて木道が掛けられ、初心者にも安心して利用出来そう。

入浴はドライバーのImさんの紹介でヒルサイドホテルの日帰り温泉にする。前は沸かし湯だったが、近年ボーリングで温泉を掘り当て、湯質も最高だそう。Imさんの別荘で天然のイナを焼いてくれたそうで、温泉は汗を流すだけにして、早々に富士見の別荘に向かう。

別荘ではImさんが用意してくれたイナの塩焼き、茹でたジャガイモ、トマト(すべて自家製)等をつまみに、待望のビールでのどを潤す。

帰りの中央道は勝沼付近から渋滞であったが、わずかに流れており8:30pm厚木に無事帰着する。

以上